

## 大学体育における自己調整学習の機能：適応感に及ぼす影響

須崎, 康臣

<https://doi.org/10.15017/1789427>

---

出版情報：九州大学, 2016, 博士（教育学）, 課程博士  
バージョン：  
権利関係：全文ファイル公表済

氏名	須崎康臣			
論文名	大学体育における自己調整学習の機能—適応感に及ぼす影響—			
論文調査委員	主査	九州大学	准教授	氏名 杉山 佳生
	副査	九州大学	教授	氏名 西村 秀樹
	副査	九州大学	講師	氏名 内田 若希
	副査	九州大学	教授	氏名 兄井 彰

### 論文審査の結果の要旨

本論文は、大学の体育授業における自己調整学習の機能を、体育授業への適応感（体育適応感）や大学への適応感（学校適応感）に及ぼす影響から明らかにしようとしたものである。第1章では、「体育授業における自己調整学習方略」を測定する尺度を作成した上で、体育自己効力感、自己調整学習方略、体育適応感の関係性を検討し、自己調整学習方略の採用は、体育自己効力感によって促進される一方で、高い体育適応感と結びついていることを明らかにした。第2章では、自己調整学習方略、体育適応感、学校適応感の関係性を検討し、自己調整学習方略の採用は、体育適応感の向上を介して、学校適応感を向上させていることを指摘した。これらの研究から、大学の体育授業において自己調整学習を推進することによって、よりよい学修活動や学生生活につながる授業や学校への適応感を向上させることが示唆され、本論文は、体育・健康・スポーツ教育学領域に、新たな知見をもたらす研究であるということが出来る。よって、本論文は博士（教育学）の学位に値するものと認める。